

平成27年度

学校だより



平成27年5月29日 6月号(第476号)

横浜市立すすき野小学校

TEL.045(901)6232 FAX.045(904)4693

【<http://www.edu.city.yokohama.jp/es/susukino-es/>】

6月



すこやかスマイル すすんで考え行動し きょうかし合う すすきっ子

- 自分の考えをもち、互いに学び合う子（知）
- 自分や友達のをさを認め合い、心豊かな子（徳）
- 心と体をきたえ、生命を大切にする子（体）
- 地域を愛し、人とのつながりを大切にして共に生きる子（公）
- 様々な人や出来事に関心をもち、国際社会に視野を広げる子（開）



## 運動会、皆さんの思い出は？

校長 三橋 国雄

先日の23日（土）はとても良い天気の中「みんなかがやけ 笑顔をはじける 運動会」のテーマのもと、運動会を実施することができました。すすき野小学校の長い歴史の中で毎年行われてきた運動会。その年、その年で少しずつ形を変えながらも、子どもたちの元気な姿を皆様にお見せできるように取り組み、今年で42回目を迎えました。

私の運動会の思い出といえば、徒競走や騎馬戦そして必ず女の子と手をつないで踊ったフォークダンスもう一つ心に残っているのが運動足袋。みなさんは、運動足袋をご存じでしょうか？昔は今のように軽くて走りやすい運動靴はなく、速く走るために運動足袋を履いて走りました。一日使うとぼろぼろになり使い捨てですが、徒競走の前までは普通の靴で、走る前に足袋に履き替え走りました。裸足で走っているようで気持ちよかったことを覚えています。その後、私が6年生になる頃には、運動足袋は姿を消し、安くて軽い運動靴が主流になりました。「走る」といえば、私は小学校の運動会6年間連続リレーの補欠という記録を持っています。それでも運動会、家族で演技や競技の話をしたひとときの団らんが思い出されます。

運動足袋



今年の運動会、それぞれのブロックでの演技、素晴らしい演技でした。演技を創り上げていく中で、子どもたちの気持ちをどこまで引き上げ当日を迎えさせるかが教師の課題です。「声をかけ子どもたちの気持ちを高める」「何回かの演技を通して細かな部分を確かめ、子どもたちに自信をもたせる」など、教師もそれぞれが自分の持ち場で子どもたちと関わりみんなで創り上げていました。特に56年演技の「舞」は運動会2～3日前まで演技が固まらず、子どもたちもなかなか演技に気持ちが入らず不安げに練習していましたが、先生方が前日の練習までポイントを抑え一つひとつ丁寧に指導を続けたことが当日のあの素晴らしい演技につながりました。演技が終わった後の子どもたちの自信あふれる堂々とした笑顔が、やりきったという気持ちを表していたと思います。ご家庭でも様々な場面で子どもたちの活動をご支援いただきました。

また「はっぴ〜くらぶ」の皆様「すすきのくんの会」をはじめたくさんの方々の地域の方々、PTA役員さん委員さんには前日準備からお手伝いいただき本当に助かりました。運動会終了後の会場の後片付けも、お手伝いしてくださる皆様がたくさんいらしてとても嬉しく思っていました。その日のうちに校庭が元通りになり、倉庫の整理まで終えることができました。ありがとうございました。

さあ6月です。夏休みまであと2ヶ月、落ち着いた雰囲気の中しっかりと学習が進められるように気持ちを切り替えて取り組ませたいと思います。今月も変わらぬご支援よろしくお願ひします。